

氷見の元気を発信する情報誌

ひみ

広報

5

May.2026
No.871



満員御礼

氷見の未来を照らす
熱い一番!



- 2 春中ハンド、地元勢チーム結果報告
- 4 芸術文化館イベント情報
- 5 藤子不二雄®まんがワールドまつり
- 6 農業と地域づくりの取り組みを紹介
- 10 国民健康保険税・後期高齢者医療保険料などの見直し
- 30 ひみPay20%還元キャンペーン期間延長



第21回 春中 ハンド — 感動をありがとう! —

優勝チーム
男子 GHR (群馬) (初優勝)
女子 鶴城 (熊本) (2大会連続)

女子	十三・南部 (県代表)	3 回戦 松陽 (兵庫)	2128
	2 回戦 生駒 (奈良)	3219	
	3 回戦 H C 美園 (埼玉)		2924
	準々決勝 生田アンドバル (神奈川)		2711
	氷見北部 (開催地代表)		
	2 回戦 神森 (沖縄)		1737
	1829		
	氷見北部 (開催地代表)		
	2 回戦 AUREOLE山梨 (山梨)		2128
	3 回戦 羽津 (三重)		202529
	準々決勝 WINS (熊本)		211925
	準々決勝 H C 京都 (京都)		

地元勢の戦績
男子
氷見西條 (県代表)
 2 回戦 羽津 (三重)
 3 回戦 WINS (熊本)
 準々決勝 H C 京都 (京都)

女子
十三・南部 (県代表)
 3 回戦 松陽 (兵庫)
 2 回戦 生駒 (奈良)
 3 回戦 H C 美園 (埼玉)
 準々決勝 生田アンドバル (神奈川)

氷見北部 (開催地代表)
 2 回戦 神森 (沖縄)
 1829

第21回春の全国中学生ハンドボール選手権大会が氷見市で3月25日に開幕し、26日から29日にかけて熱戦が繰り広げられました。

県代表として出場した西條中学校男子は、2回戦から順調に勝利を重ね、準々決勝でH C 京都(京都)と激突。最後の瞬間まで目の離せない熱戦を展開しましたが、わずかに1点差で惜敗となりました。キャプテンの大森桐真選手は、「3連覇を果たすことはできなかったが、悔しい気持ちを糧に夏に向かいたい」と、これからに向けた決意を語りました。

十三・南部中学校女子も、県代表の威信を胸に挑戦を続け、目標とした8強入りを勝ち取りました。準々決勝では生田アンドバル(神奈川)と対戦。4強入りとはなりませんでしたが、キャプテンの伊藤優陽選手は「全力を出し切った。後悔はない」と語り、春中ハンドで得た経験を生かし、さらなる高みを目指す決意を新たにしました。

開催地代表の北部中学校男子は、部員8名がチームワークを発揮し、大きな存在を示しました。3回戦で松陽(兵庫)に敗退したものの、最後まで諦めずに闘い抜きました。今大会でチームを離れる西森監督に、選手たちは「夏の大会までにもっと成長した姿を見せる」と誓い、次の挑戦に燃えています。

また、3年ぶりの出場を果たした北部中学校女子は、2回戦で優勝経験校である神森(沖縄)と対戦。序盤こそ主導権を握られたものの、果敢な攻撃で何度も会場を沸かせました。惜しくも点差を詰めきれずに敗れましたものの、「全国レベルの壁の高さを実感できたことが大きな収穫」と前向きに捉え、次の大会に向けて新たな闘志を燃やしていました。

未来を担う中学生たちの熱い戦いは、会場を訪れた多くの観客の心を揺さぶりました。春の風とともに、いくつものドラマが氷見の地で刻まれた一週間でした。